

JHL NEWS

No.14

2009年12月7日

●発行●
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

トヨタ紡織が大逆転で大同の連勝をストップ！

～第34回日本ハンドボールリーグ・第13週～

第34回日本ハンドボールリーグ第13週は、12月5、6日に福井、佐賀で男子2試合が行われ、首位を独走していた大同特殊鋼がトヨタ紡織九州に28-29と逆転負けを喫し、開幕からの連勝が10でストップした。初黒星をつけられた大同だがレギュラーシーズンの4位以内が確定してプレーオフ進出を決定。残り3枚のプレーオフ切符をめぐり、4位の座をキープした紡織、北陸電力に順当勝ちした湧永製薬、今週試合がなかったトヨタ車体、大崎電気を加えた4チームの争いは、今後ますます激化しそうだ。

佐賀での紡織-大同戦は、10戦全勝の大同に対し、紡織は藤山、石黒のサイドやミドルシュートなどで果敢な戦いぶりを見せ、立ち上がりは得点の応酬となった。それでも大同は前半22分9-9の同点から白の7mスロー、渡久川のポストシュート、末松の速攻などでペースアップし、GK東の好セーブもあって15-10と5点差をつけて前半を折り返した。

紡織は後半開始直後、呉のミドルシュートなどで3点を連取したものの、すぐさま大同も野村、末松らで得点を奪い返し、15分27-19と8点のリードをつけた時点で大同の勝利は動かないものと思われた。しかし、ここから紡織の猛反撃が始まった。17分海道のゴールに端を発し、村上秀の速攻などで20分までに4点を連取。たまらず大同はタイムアウトを取るもの、紡織に傾いた流れは変わらず、呉の連打や中畠のミドルシュートなどで27分28-28の同点に追いつき、そして残り1分に村上秀のポストシュートが決まり、これが決勝点となった。大同は残り32秒に7mスローのチャンスを得たが、紡織GK・松野が末松の一投をシャットアウト。手に汗握るゲーム展開に観衆もオーバーヒートし、紡織は地元での大逆転勝利でプレーオフ争いに大きな1勝をつかんだ。

福井での北電-湧永戦は、北電の6:0ディフェンスに対して今井のポストシュートや坂本のサイドシュートで攻める湧永、大型選手の3:2:1ディフェンスを仕掛ける湧永に対し、クロスやポジションチェンジを駆使して桜井のカットインシュート、山原のポストシュートで応戦する北電と、立ち上がりから一進一退の展開となり、15分までは8-8と両者譲らなかった。しかし、ここから湧永は下がり気味の北電ディフェンスの上から谷村のミドルシュートや東長濱のカットインシュートが決まり始め、その後も新、坂本の速攻などで主導権をキープ、杉山、高橋の速攻で追いつがる北電に16-12と4点差をつけて前半を折り返した。

後半は両GKのファインセーブの応酬もあり、ともにセットオフェンスの得点が伸びなかつたが、湧永は山中のミドルシュートや武藤のポストシュートなどで徐々に差を広げていった。北電は湧永ディフェンスに対してローリングやポストプレーで揺さぶりをかけようとしたが、バックプレーヤー陣の足が止まって苦しい戦いが続き、新、谷村らで着実に加点した湧永に16分15-25と10点差をつけられ、その後も時間をしっかり使いながら丁寧に攻めた湧永が手堅い守りもあって順当に勝利をつかんだ。

次週は愛知などで男子4試合が組まれ、プレーオフ争いでしのぎを削る湧永と車体が激突する一戦に大きな注目が集まる。大崎、紡織、大同は下位チーム相手に確実に勝点を積み上げたいところだ。

第14週の日程



④大逆転で大同特殊鋼の連勝にストップをかけたトヨタ紡織九州・中畠⑤北陸電力に順当勝ちした湧永製薬・東長濱

12月12日(土)	愛知	稲沢市総合体育館(名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」下車徒歩8分) 三好公園総合体育館アリーナ(名鉄豊田線赤池駅バス20分)	14:00~ (男) 13:00~ (男) 15:00~ (男)	豊田合成×大崎電気 トヨタ紡織九州×北陸電力 大同特殊鋼×琉球コラソン
12月13日(日)	高知	高知県民体育館(JR土讃線高知駅バス10分)	13:00~ (男)	湧永製薬×トヨタ車体

第1回チャレンジ・ディビジョン結果

△東地区

(12月5、6日・トヨタ車体吉原体育館)

トヨタ 31 (16-6) 19 H C 岐阜
自動車 15-13

F O G 26 (11-9) 23 大同大学
15-14

F O G 30 (15-12) 22 H C 岐阜
15-10

セントラル自動車 26 (14-10) 22 大同大学
12-12

△西地区

(12月5、6日・神戸国際大学体育館)

八光自動車 27 (12-14) 23 H C
15-9

Honda 30 (14-12) 26 H C 山口
16-14

H C 山口 30 (13-16) 25 八光自動車
17-9

M K A 28 (13-9) 17 高松大学
15-8

※徳山クは新型インフルエンザの影響で当該2試合は中止に

◆ 12月5日(土) 男子 福井・北陸電力福井体育馆フレア			◆ 12月6日(日) 男子 佐賀・神埼中央公園体育馆		
湧永製薬 33 (16-12) 5勝1分3敗	16 (17-4)	北陸電力 0勝1分10敗	トヨタ紡織 九州 29 (10-15) 5勝2分3敗	大同特殊鋼 10勝0分1敗	
<0/3> K 志 水 5/ 6 谷 村 1/ 1 木 村 4/ 6 坂 本 2/ 3 山 中 0/ 2 福 田 1/ 1 佐 藤 2/ 3 名 嘉 7/ 9 新 2/ 2 武 藤 2/ 4 今 井 K 松 村 3/ 5 古 家 1/2 3/ 5 東長濱	高 橋 3/ 5 神 田 0/ 5 落 合 3/ 4 桜 井 1/ 5 2/2 前 田 0/ 1 高 田 0/ 0 杉 山 3/ 5 1/1 表 0/ 0 山 原 3/ 7 松 岡 0/ 0 丸 山 K <1/2> 石 塚 0/ 0 櫛 田 0/ 0 有 江 K		<1/1> K 松 野 4/ 6 中 畠 0/ 1 西 端 2/ 4 村上直 0/ 0 松 信 6/11 村上秀 7/ 8 駒相民 0/ 1 佐久間 1/ 1 鶴 田 2/ 2 海 道 2/ 2 阪 <1/2> K 谷 川 1/1 2/ 9 藤 山 2/ 3 石 黒	田 中 K <0/1> 5/ 6 未 松 6/ 8 0/2 浦 田 0/ 0 地 引 3/ 4 武 田 1/ 2 岸 川 2/ 3 高 木 K 千々波 2/ 2 山 城 2/ 2 東 K 白 元 嵌 4/ 8 1/1 松 永 0/ 0 渡 久 川 2/ 4	
1/2 32/47 審判 (寺内・細川)	3(FPP)5 観客 310人		1/1 28/48 審判 (池渕・檜崎)	4(FPP)12 観客 471人	27/39 1/3



トヨタ車体

【怒濤の攻撃・鉄壁守備】

トヨタ車体応援団の団幕ができました。この団旗のもと応援団員が一致団結してトヨタ車体を応援していきます。「怒濤」は、車体らしく走って、飛んで荒れまくる波のような攻撃。「鉄壁」は、そびえ立つ壁のごとく完璧な守備。このような意味が込められています。そこに、熱く燃える応援団、熱烈サポの想いを注入して完成しました。

「怒濤・鉄壁」何か恐ろしい応援団とのイメージかもしれません、それは大間違い。毎回、明るく楽しく！そして熱烈に!! ハンドボール観戦が初めての方でもウェルカムです。応援団員全員で笑顔でお迎えします。是非・是非我々応援団と共にハンドボールを楽しみましょう。楽しくなければハンドボールではありません。サポの皆！ 今日も熱烈に行こʊぜ!!



トヨタ車体ハンドボール応援団 団長の岡本和也と熱き応援団員



広島メイプルレッズ

日本代表コンビの奮戦に期待！

プレーオフ進出が難しくなった広島メイプルレッズですが、わずかな可能性にかけて日々練習に精を出しています。現在は中国で開催される世界選手権に植垣暁恵、新城明奈選手が参加しているため少人数の練習です。

今年入った新人選手もチームの雰囲気には慣れたようですが、日本リーグの厳しいマークに戸惑いが出て壁に当たっているようです。このハードルを乗り越えて、より一層の飛躍を期待しています。

全日本に選ばれた二人には世界選手権でレベルの高いチームとの対戦から多くのものを身につけて多くの経験をチームに持ち帰ってくれるものと思います。そして勤務している会社にも感謝の気持ちを持って、今後の仕事に励んでくれることでしょう。

残ったメンバーも全日本の活躍を期待していますし、自分たちの分も頑張ってくれることを願っています。

リーグは今、中休みですが全日本総合ではしみをつけ、残りのリーグでひと暴れすることを狙っていますので期待してください。



飛躍が期待される②新城明奈選手③植垣暁恵選手

男女個人ランキング 第13週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 末松 誠	(大同特殊鋼)	87 点	(11試合)	1 上町 史織	(北國銀行)	79 点	(9試合)
2 門山 哲也	(トヨタ車体)	71 点	(10試合)	2 郭 晃靜	(ソニ一)	61 点	(9試合)
3 今村 彰伸	(豊田合成)	57 点	(10試合)	3 植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	57 点	(9試合)
4 豊田 賢治	(大崎電気)	55 点	(10試合)	4 藤井 紫緒	(オムロン)	55 点	(7試合)
5 中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	54 点	(10試合)	5 横嶋かおる	(北國銀行)	54 点	(9試合)
5 神田 友和	(北陸電力)	54 点	(11試合)	5 伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	54 点	(9試合)
7 武田 享	(大同特殊鋼)	52 点	(10試合)	7 高橋 恵	(ソニ一)	51 点	(9試合)
8 白 元皓	(大同特殊鋼)	49 点	(11試合)	8 高栖 由香	(ソニ一)	42 点	(9試合)
9 銘苅 淳	(トヨタ車体)	48 点	(10試合)	9 高田 裕梨	(オムロン)	38 点	(9試合)
9 志慶真龍我	(琉球コラソン)	48 点	(9試合)	10 洪 廷昊	(オムロン)	37 点	(9試合)
11 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	47 点	(9試合)	10 桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	37 点	(9試合)
12 小澤 広太	(大崎電気)	46 点	(10試合)	10 菅谷 美奈	(H C 名古屋)	37 点	(9試合)
12 東長濱秀作	(湧永製薬)	46 点	(9試合)	13 若松 里佳	(北國銀行)	36 点	(9試合)
14 落合 信也	(北陸電力)	45 点	(11試合)	14 工藤 麻衣	(ソニ一)	34 点	(9試合)
15 吳 相民	(トヨタ紡織九州)	43 点	(10試合)	15 仲宗根 彩	(北國銀行)	32 点	(9試合)
15 村山 裕次	(琉球コラソン)	43 点	(9試合)				

フィールド得点

1 末松 誠	(大同特殊鋼)	79 点	(11試合)	1 郭 晃靜	(ソニ一)	61 点	(9試合)
2 門山 哲也	(トヨタ車体)	71 点	(10試合)	2 上町 史織	(北國銀行)	58 点	(9試合)
3 今村 彰伸	(豊田合成)	57 点	(10試合)	3 横嶋かおる	(北國銀行)	54 点	(9試合)
4 中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	54 点	(10試合)	4 伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	43 点	(9試合)
4 神田 友和	(北陸電力)	54 点	(11試合)	5 高栖 由香	(ソニ一)	42 点	(9試合)
6 武田 享	(大同特殊鋼)	52 点	(10試合)	5 植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	42 点	(9試合)
7 志慶真龍我	(琉球コラソン)	47 点	(9試合)	7 高橋 恵	(ソニ一)	40 点	(9試合)
8 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	46 点	(9試合)	8 高田 裕梨	(オムロン)	38 点	(9試合)
8 小澤 広太	(大崎電気)	46 点	(10試合)	8 藤井 紫緒	(オムロン)	38 点	(7試合)
10 豊田 賢治	(大崎電気)	44 点	(10試合)	10 洪 廷昊	(オムロン)	37 点	(9試合)
				10 桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	37 点	(9試合)

シート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 末松 誠	(大同特殊鋼)	79点/109射 0.725	1 高栖 由香	(ソニ一)	42点/ 48射 0.875
2 志慶真龍我	(琉球コラソン)	47点/ 77射 0.610	2 横嶋かおる	(北國銀行)	54点/ 69射 0.783
3 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	46点/ 77射 0.597	3 洪 廷昊	(オムロン)	37点/ 62射 0.597
3 小澤 広太	(大崎電気)	46点/ 77射 0.597	4 高田 裕梨	(オムロン)	38点/ 66射 0.576
5 門山 哲也	(トヨタ車体)	71点/121射 0.587	5 上町 史織	(北國銀行)	58点/ 101射 0.574

7mスロー得点

1 銘苅 淳	(トヨタ車体)	18 点	(10試合)	1 上町 史織	(北國銀行)	21 点	(9試合)
2 藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	17 点	(10試合)	2 藤井 紫緒	(オムロン)	17 点	(7試合)
3 村山 裕次	(琉球コラソン)	16 点	(9試合)	3 植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	15 点	(9試合)
4 東長濱秀作	(湧永製薬)	13 点	(9試合)	4 菅谷 美奈	(H C 名古屋)	14 点	(9試合)
5 豊田 賢治	(大崎電気)	11 点	(10試合)	5 高橋 恵	(ソニ一)	11 点	(9試合)
5 森光 勇太	(豊田合成)	11 点	(10試合)	5 伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	11 点	(9試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 坪根 敏宏	(トヨタ車体)	8本/ 14射 0.571	1 勝田 祥子	(オムロン)	6本/ 13射 0.462
2 東 直明	(大同特殊鋼)	4本/ 11射 0.364	2 家城 千香	(H C 名古屋)	8本/ 19射 0.421
3 東 佑三	(大崎電気)	5本/ 14射 0.357	3 浅井友可里	(バイオレットアイリス)	4本/ 13射 0.308
4 松野 雅崇	(トヨタ紡織九州)	6本/ 18射 0.333	4 近藤 澄江	(H C 名古屋)	5本/ 17射 0.294
5 藤田 東吾	(豊田合成)	3本/ 10射 0.300	5 堂面 妙子	(メイプルレッズ)	4本/ 14射 0.286

第34回日本ハンドボールリーグ成績表

第13週終了 12月6日

順位	男子	大同特殊鋼	トヨタ車体	大崎電気	トヨタ紡織九州	湧永製薬	豊田合成	琉球コラソン	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		30 ○ 23	24 ○ 19	35 28 ○ ● 29 29	32 29 ○ ○ 26 25	48 40 ○ ○ 24 19	35 ○ 24	36 40 ○ ○ 23 24	11	10	0	1	20	377	265	112
2	トヨタ車体	23 ● 30		25 30 ● ○ 36 22	27 31 ● ○ 28 30	32 ○ 30	30 ○ 24	33 30 ○ ○ 23 27	28 ○ ○ 17	10	7	0	3	14	289	267	22
3	大崎電気	19 ● 24	36 22 ○ ● 25 30		30 28 △ ○ 30 26	21 ● 28	43 ○ 18	34 ○ 27	28 24 ○ ○ 24 18	10	6	1	3	13	285	250	35
4	トヨタ紡織九州	29 29 ● ○ 35 28	28 30 ○ ○ 27 31	30 26 △ ● 30 28		23 △ 23	40 ○ 21	36 ○ 28	30 ○ 23	10	5	2	3	12	301	274	27
5	湧永製薬	26 25 ● ● 32 29	30 ○ 32	28 △ 21	23 ○ 23		39 ○ 23	37 ○ 26	35 33 ○ ○ 17 16	9	5	1	3	11	276	219	57
6	豊田合成	24 19 ● ● 48 40	24 ● 30	18 ● 43	21 ● 40	23 ● 39		22 33 △ ○ 22 29	22 24 △ ○ 22 17	10	2	2	6	6	230	330	-100
7	琉球コラソン	24 ● 35	23 27 ● ● 33 30	27 ● 34	28 ● 36	26 ● 37	22 29 △ ● 22 33		33 ○ 29	9	1	1	7	3	239	289	-50
8	北陸電力	23 24 ● ● 36 40	17 ● 28	24 18 ● ● 28 24	23 ● 30	17 16 ● ● 35 33	22 17 △ ● 22 24	29 ● 33		11	0	1	10	1	230	333	-103

順位	女子	オムロン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	三重バイオレットアイリス	広島メイプルレッズ	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		25 21 ● ○ 30 19	27 36 ● ○ 28 21	23 ○ 16	33 36 ○ ○ 17 15	40 37 ○ ○ 11 14	9	7	0	2	14	278	171	107
2	北國銀行	30 19 ○ ● 25 21		33 23 ○ ● 27 31	29 30 ○ ○ 21 18	34 31 ○ ○ 28 22	37 ○ 16	9	7	0	2	14	266	209	57
3	ソニーセミコンダクタ九州	28 21 ○ ● 27 36	27 31 ● ○ 33 23		32 35 ○ ○ 20 28	45 ○ 26	42 42 ○ ○ 15 20	9	7	0	2	14	303	228	75
4	三重バイオレットアイリス	16 ● 23	21 18 ● ● 29 30	20 28 ● ● 32 35		27 21 ● ○ 28 15	30 31 ○ ○ 15 16	9	3	0	6	6	212	223	-11
5	広島メイプルレッズ	17 15 ● ● 33 36	28 22 ● ● 34 31	26 ● 45	28 15 ○ ● 27 21		36 33 ○ ○ 20 13	9	3	0	6	6	220	260	-40
6	HC名古屋	11 14 ● ● 40 37	16 ● 37	15 20 ● ● 42 42	15 16 ● ● 30 31	20 13 ● ● 36 33		9	0	0	9	0	140	328	-188

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。